



巽孝之

慶應義塾大学文学部教授

学者批評家の使命——ポール・ド・マンの場合

大阪大学言語社会学会学術記念講演会



2016年6月23日木曜日13:30-14:50
大阪大学外国学図書館AVホール
大阪大学箕面キャンパス

講演者：巽孝之 慶應義塾大学文学部教授

略歴：1955年生まれ。コーネル大学大学院博士課程修了（Ph.D,1987）。日本英文学会監事、アメリカ学会理事。2014年より日本アメリカ文学会会長。『サイバーパンク・アメリカ』（勁草書房）、『ニュー・アメリカニズム』（青土社）、『アメリカン・ソドム』（研究社）、『リンカーンの世紀』（青土社）、『モダニズムの惑星』（岩波書店）、『メタファーはなぜ殺される—現在批評講義』（松柏社）、『盗まれた廃墟—ポール・ド・マンのアメリカ』（彩流社）をはじめ、アメリカ文学に関する多数の著書、編著、訳書がある。

※一般の方のご来聴を歓迎します。

※事前登録は不要、入場は無料です。

※問い合わせは大阪大学言語社会学会事務局
genshagakkai@lang.osaka-u.ac.jpまで。

主催：大阪大学言語社会学会

共催：大阪大学大学院言語文化研究科

後援：大阪大学英語部会EDU

